

平成29年度第1回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 平成29年4月25日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 京都市立病院 本館5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 森 一樹, 桑原 安江, 大森 憲, 位高 光司, 山本 壯太,
能見 伸八郎, 木村 晴恵
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則
事務局 阿部経営企画局次長, 長谷川担当部長, 榎木担当副部長, 高橋経営企画課長,
石田総務担当課長, 澤井管理PFI担当課長, 北川京北病院事務長,

1 開会

2 報告等

(1) 京都市立病院機構の組織改正について

資料1に基づき阿部経営企画局次長から説明

- 組織改正については、PFI事業への対応を全面に出したのか。
 - 前回理事会で申し上げたとおり、5つの柱のうちの1つであるPFIの完成型を目指すことについて組織改正で対応するものである。
- 統括担当、プロジェクト担当副院長のポストは具体的にどのようなことを行うのか。
 - 今年度の大きな課題である、地域包括ケア病棟の導入検討、平成30年度の診療報酬改定への対応について組織横断的にするものである。
- 医療安全管理体制の強化とは、具体的にどういうことか。
 - 医療安全推進室への診療部の関わりを強め、また、医療事故調査制度の今後の制度改変に対応できるように、医療安全推進室に推進担当部長として医師を新たに追加した。
- 医療政策監としての立場は、どのような役割を担うものか。
- 前院長に対する地域での信頼度が高い。今までどおり京北地域の期待・ニーズに応えてほしい。
 - 医療政策監及び新院長は、これまでどおり診療を行うため、診療レベルに変更はない。診療自体は今までどおり担いながら、院長職として行う事務を新院長に引継ぎ、医療政策監は、より地域とのパイプを強化し、ニーズを拾える体制としたものである。

(2) 経営状況月次報告（3月）

資料2に基づき阿部経営企画局次長から説明

- 市立病院における地域包括ケア病棟の役割とはどういうことか。高度な急性期医療を提供していく方針と矛盾するのではないか。
 - 高度な急性期医療を提供していく方針に変わりはない。例えば、整形外科で手術を行い、退院までの標準的な時間が経った場合でも、退院できない状態の患者さんがいることもある。そのような患者さんに地域包括ケア病棟に移っていただき、集中的にリハビリを提供して在宅復帰を支援しようとするものである。
- 地域包括ケア病棟を始めることで、経営上どの程度の効果が上がるのか。
 - 地域包括ケア病棟による収入増加、総合入院体制加算を外れることによる収入減少、リハビリスタッフ増員による経費増加等を換算すると、月あたり、差引1,000万円程度

の収益増加を見込んでいる。

- 3月の経営数値が伸びているが、収益が増加した要因は何か。
 - 28年度は、8月、3月に数値が伸びたが、8月については、重症度、医療・看護必要度の本格的運用に向けて、職員の夏休みが入る8月に数値が落ちないように、3月については、決算で赤字に落ち込まないように、PDCAをしっかりとまわした結果である。
- 麻酔科管理手術や手術難易度等の高度化の進捗はどうか。また、材料費が引き続き増加傾向とのことだが、29年度はどうみているか。
 - 収益が良かった8月・3月を除いて前年度並みだった。必ずしも重篤な患者さんばかりではないので、地域連携を強化することで、紹介患者を増やすことがやはり重要である。
 - 材料費の対薬価引率については、一定効果は出てきているが、高額医薬品の伸びもあり、今後も材料費率は高止まりすると想定している。
- 救急車応需率が回復してきているが、理想は100%受け入れか。
 - 理想は100%だが、病床が満床であったり、救急室の回転にもより、全国的に受入が高い病院でも93%程度と言われている。

(3) 月次収支報告（2月まで）について

資料3に基づき阿部経営企画局次長から説明。

- 固定資産除却損の900万円は何か。
 - 実査の結果、廃棄等を行っていた医療機器分である。キャッシュを伴うものではない。

(4) 平成28年度外来患者満足度調査結果について

資料4に基づき長谷川経営企画局担当部長から説明

- 本日10時20分頃病院に到着したが、北駐車場は満車、南駐車場もほとんど埋まっていた。また、館内受付等も非常に混雑しているように感じたが、いつもこのような感じか。
 - 8時30分の受付開始時に館内は最初の混雑のピークとなり、10時過ぎにかけて、最初に診察・検査等を終えた方が会計に向かい、10時台の予約患者と重なるため、再び混雑のピークを迎える。駐車場については、最初に受診された方が帰られる時間帯までが混雑のピークである。
- 人間ドックを先週受けたが、まだ余裕があるように見えるので、もっとPRに力を入れるように。
 - 早速HPを改めたい。

(5) 地方独立行政法人法の改正について

国会審議中の法案について大森理事から説明

3 閉会